

## 原料費調整制度の一部変更についてのお知らせ

日頃より弊社のL Pガスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、弊社では、我が国における北米産L Pガスの輸入量が近年増加していることに鑑み、中東産および北米産のL Pガス輸入原料価格に基づく原料費調整条項を2020年10月検針分ガス料金の算定時から、下記のとおり、一部変更させていただきます。

なお、毎月の調整額の算定基礎となる基準平均原料価格、基本料金および基準従量料金単価に変更はございません。原料費調整制度に伴う調整単価の算定方法および毎月の一般料金につきましては、弊社ホームページ (<https://www.ngas.co.jp/>) で公表いたしますので、詳細は弊社ホームページをご確認くださいようお願い申し上げます。

今後とも、お客さまのご期待に沿うようサービスの向上と安定供給に努めてまいりますので、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

### 記

《 原料費調整条項の変更 》 ※下線部は変更箇所

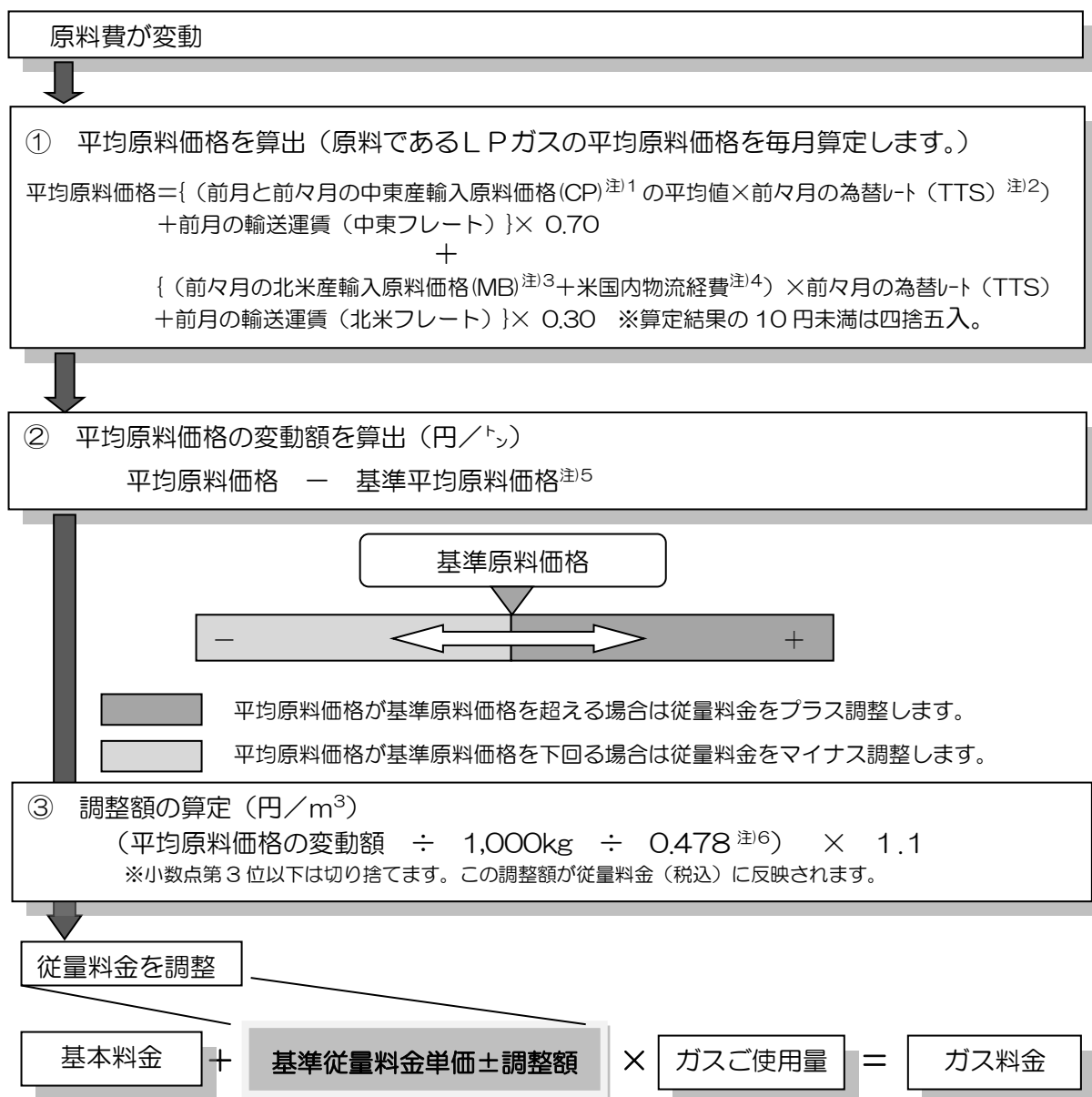
【変更前】 平均原料価格の算定 (円/ト)

$$\begin{aligned} \text{平均原料価格} = & \{ (\text{前月と前々月の中東産輸入原料価格 (CP)}^{\text{注1}} \text{の平均値} \times \text{前々月の為替レート (TTS)}^{\text{注2}}) \\ & + \text{前月の輸送運賃 (中東フレート)} \} \times \underline{0.75} \\ & + \\ & \{ (\text{前々月の北米産輸入原料価格 (MB)}^{\text{注3}} + \text{米国内物流経費}^{\text{注4}}) \times \text{前々月の為替レート (TTS)} \\ & + \text{前月の輸送運賃 (北米フレート)} \} \times \underline{0.25} \quad \text{※算定結果の10円未満は四捨五入。} \end{aligned}$$

【変更後】 平均原料価格の算定 (円/ト)

$$\begin{aligned} \text{平均原料価格} = & \{ (\text{前月と前々月の中東産輸入原料価格 (CP)}^{\text{注1}} \text{の平均値} \times \text{前々月の為替レート (TTS)}^{\text{注2}}) \\ & + \text{前月の輸送運賃 (中東フレート)} \} \times \underline{0.70} \\ & + \\ & \{ (\text{前々月の北米産輸入原料価格 (MB)}^{\text{注3}} + \text{米国内物流経費}^{\text{注4}}) \times \text{前々月の為替レート (TTS)} \\ & + \text{前月の輸送運賃 (北米フレート)} \} \times \underline{0.30} \quad \text{※算定結果の10円未満は四捨五入。} \end{aligned}$$

《 調整額算定の流れ 》 ※2020年10月検針分以降のガス料金に適用される調整額の算定



注1 CPとは・・・？

CP価格（Contract Price = 通告価格）とは、サウジアラビア国営石油会社であるサウジアラムコ社が1994年10月から導入したLPガスの政府公式販売価格（サウジアラビア積み出し価格）です。

注2 TTSとは・・・？

TTS (Telegraphic Transfer Selling rate) とは、円を外貨に交換するときに適用される為替レートのことです。

注3 MBとは・・・？

MB (Mont Belvieu=モントベルビュー) とは、アメリカ・テキサス州モントベルビューで取引されているLPガスの市場価格であり、ヒューストンから輸出されるLPガス価格の指標となっています。

注4 米国内物流経費とは・・・？

モントベルビュー産LPガスはパイプラインに流通しているNGL（天然ガス液）からプロパンガスを取り出し、マイナス42℃に冷却し、再液化して出荷しています。そのため輸出価格にはターミナル費用とパナマ運河を通行する通峡料が賦課されます。

注5 基準平均原料価格とは・・・？

2017年n月、n-1月の中東産LPガス輸入原料価格の平均値にn-1月TTSを乗じn月中東フレートを加算した値に0.75を乗じた価格と、2017年n-1月北米産LPガス輸入価格に物流経費を加えた価格にn-1月TTSを乗じn月北米フレートを加算した値に0.25を乗じた価格の合計（10円未満四捨五入）により算定し、単位は円/トンとなります。

注6 調整額の算式の0.478とは・・・？

海外からの原料輸入価格（CP）はメートル法によりトン単位です。

国内のLPガス販売は法律によりメーター販売と決められており、単位は「立方メートル」です。1KgのLPガスが気体になると約0.478m<sup>3</sup>になりますが、これを基準産気率として計算しています。

この基準産気率は国の外郭団体である高圧ガス保安協会が全国に販売されているJIS規格1種1号（民生用LPG）の代表的な性状のものをサンプリングし、実際に気化実験を行って求めており、最終的にはこの値をもって閣議決定されたものです。